

平成 30 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社タカチホ
 代表者名 代表取締役社長 久保田 一臣
 (コード番号：8225 東証JASDAQ)
 問合せ先 取締役管理本部長 寺澤 和宏
 (TEL 026-221-6677)

業績予想及び配当予想の修正、並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 30 年 3 月期におきまして、以下のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値の修正内容 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 29 年 5 月 15 日公表)	百万円 11,000	百万円 270	百万円 250	百万円 150	円 銭 239.77
今回修正予想 (B)	10,510	166	142	138	221.06
増減額 (B - A)	△490	△104	△108	△12	
増減率 (%)	△4.5	△38.5	△43.2	△8.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	10,640	248	216	134	214.58

(注) 平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合をもって株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 修正の理由

主に、みやげ事業における主要観光地の入込客減少に伴う受注減、温浴施設事業及びアウトドア用品事業における利用客の減少が影響し、売上高は予想を下回ることとなりました。利益面におきましては、売上高の減少と施設老朽化に伴う修繕費の発生、新規出店費用等の影響により、営業利益、経常利益共に大幅な減少となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益については特別利益の計上により微減となりました。

2. 期末配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成29年5月15日公表)	円 銭	円 銭 20.00	円 銭 20.00
今回修正予想		25.00	25.00
当期実績	0.00		
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	0.00	2.00	2.00

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前期実績(平成29年3月期)の1株当たり配当金は、当該株式併合前の金額を記載しております。株式併合を考慮した場合の金額は20円となります。

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要施策のひとつと位置づけ、業績の安定と収益力の向上、財務体質の強化に努め、安定配当を実施していくことを基本方針としております。

当期の業績について、営業利益及び経常利益双方にて予想を下回ることとなりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益においては予想どおり3期連続の黒字を計上することができました。

当初の期末配当予想においては、今後の事業展開及び財務体質の強化に必要な内部留保を確保するため、20円としておりましたが、当期の業績動向や今後の財務状況などを総合的に勘案し、1株当たり25円として増配をさせて頂くことといたしました。

今後も、収益力を高め、財務体質の改善を図り、安定配当の継続に努めてまいります。

3. 特別損失の計上について

(1) 減損損失

当社グループが所有する事業用資産のうち、収益性の低下した一部既存店舗において減損の兆候が認められたため「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、その認識・測定を行った結果、特別損失として11百万円の減損損失を計上いたします。

(2) 役員退職慰労金引当金繰入

故取締役会長 久保田知幸に対し、次回の定時株主総会の承認可決を条件として、当社規程に基づき役員退職慰労金の支給に加え、別途死亡退職慰労金及び退職慰労加算金を支給することを決議いたしましたので、当該慰労金・加算金25百万円を、平成30年3月期第4四半期において計上いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上